

アナログ再構成後の活用(39)
ーベートーベンを聴く(38)ー

1. 始めに

前報(38)に引き続き、ベートーベンのアナログ盤を試聴していきます。

2. アナログシステムについての改善の試聴方法

試聴は LINN LP-12 のシステムでアクセサリ関係も最新情報に基づいて実施し、要時 Garrad 401 のシステムも加えます。これまでの状況は、オーディオ資料室の再生経路と変更点 4 に要約しています。なお、バイワイアリングのスピーカーケーブルにケーブルチューナーが装着されています。さらに、追加の変更点については、オーディオ資料室の再生経路と変更点 5 とオーディオ資料室の再生経路と変更点 6 に要約しています。

再生経路は、LP-12 のアームの調整も終わりましたので、次のとおりです。

LP-12→AACU-1000→Stage1030→Brooklyn DAC+→AACU-1000→

P&G フェーダー→300B シングルアンプ

今回も引き続き、ベートーベンの交響曲を聴いていきます。

今回取り上げる盤は、次のアナログ盤です。

CBS SONY 28AC 1178

交響曲第 3 番変ホ調作品 55「英雄」

ズビン・メータ指揮ニューヨークフィル

3. アナログシステムについての改善結果の試聴結果

デジタル録音の盤であり、静寂感はありますが、やや音場は平面的です。演奏は若いメータがニューヨークフィルを率いての演奏であり、勢いがあり、迫ってくるような力があります。

4. まとめ

アナログシステムの再構成の結果、録音の特徴やメータの勢いのある演奏を聴かせてくれるようになりました。

以上